伯剌西爾時報

發行所 伯剌西爾時報社
發行所 月刊"子供の國"
社長 黒石清作
Director Masahiro Sameshima
Redação / Administração / Oficina — Rua Fagundes, 196 / Telefone 7-4670 / Caixa Postal H S. Paulo

購讀料（新聞一部雜誌）
一ヶ年 ———— 30$000
半ヶ年 ———— 15$000
外國 ———— 100$000

廣告料
1 Pagina（一頁）———— 1:000$000
1 Coluna（一段）———— 80$000
1 cm de col.（一吋）———— 2$500

新事態即應を指標に 興亞　交遂行に邁進
帝國政府列國の認識是正を主張

【東京廿一日同盟】有田外相は東亞の新事態に即應して去る十一月十八日附け對米回答に明示された帝國外交の指標に向ひ强力に興亞外交を遂行するに決し第三國との關係調整に際しても此の新東亞外交方針の權限に其重點を置くことになつた、然して帝國政府の對米回答は單に米國に對する回答に止まらず當面の懸案たる第三國の在支權益處理問題に對し支那に於る門戶開放機會均等に關する帝國政府の見解を闡明せる意味に於て英佛兩國に對する間接的な回答と目せられ此點英佛の今後の態度は注目されるものがあるが帝國政府としては事變前の東亞事態に適用されたる觀念乃至原則は東亞の新事態に適應せずとの不動の方針に基き今後在京英佛兩大使より說明を求められば帝國政府の意圖を闡明し東亞に對する認識是正を促すものと見られてゐる

總動員法發動に併行して 行政改革を斷行
先づ企畫院の機構改組に着手か

【東京廿一日同盟】政府は武漢陥落後の新事態に對處するため國內態勢を更に整備强化すべく國家總動員法令を全面的に發動することになつたが此れに併行して近衛首相は行政改革の斷行を決意しまづ企畫院の機構を根本的に改組し國家總動員法關係事務を分離してこれを商工省の臨時物資調整局を統合臨時軍需局の如き總動員事務局を創設するほか東亞新態勢を目ざす日滿支三國の政治經濟文化の諸政策を綜合調整する中樞機關たらしめる意嚮でこれが完成のあかつきは更に各省機構のかい革についても考慮してゐる模樣である

黄金花咲く占守島 全島に亘る大金鑛脈
二年掛りで調査發見

【函館廿一日同盟】時局下金總動員の國策に添ふて千島に金をさがす調査隊が商工省から遺されんとしてゐる折柄今どは北千島占守島全部が金山であることが昨年來二ヶ年がかりの調査により立證され全島四十三鑛區の提出された計畫書は函館し北千島水產株式會社監查役白石廣太郎氏で嘗て國後昌德金山の發見者である、東京し荒川區出身前記白石勝、菊地廣作氏が鑛脈を發見、昨年四月以來金鑛調查隊二十八名、砂金鑛調查隊五名を組織して今日まで二年がかりの總費用三万五千円を投じ熊とたゝかひながら調査をとげた結果、全島にわたり鑛脈二十四及砂金鑛を發見鑛石分析の結果最高含有量百万分の十二・五の多重をふくむことが判明したので今回四十三鑛區の試堀出願をしたものでめう春雪どけを待つて大數の技術者をは遣精密調査の上採掘作業に着手することになつた、尚同氏はこれに續いて幌莚とうにも多くの金鑛脈があるみこみから調査隊をは遣調査中である

大本營設置滿一周年 聖上・萬機に御精勵
畏し早旦深更にも御親裁遊ばさる

【東京廿日同盟】畏くも昨年十一月廿日宮中に大本營を設置あらせられてより、一周年、皇軍の戰果は次々と收められ徐州、廣東を陥れ十月二十七日遂に武漢三鎭を攻略して赫々たる戰捷の裡に記念申し上ぐべきこの廿日を迎へたのであるが、回顧し奉るこの一年惶れ多きことながら天皇陛下には東亞の和平克復、新ちつ序の建設に夙夜宸襟を惱まし給ひつゝ、御軍務をはじめ萬機に御精勵あらせられ終始御軍裝を召され御軍務に關しては早旦深更と雖も刻々御親裁あらせ給ふと承はる、昨秋來大演習はお取止めあそばされたがこの夏は海軍航空廠木更津海軍航空隊に、秋には熊ヶ谷陸軍飛行學校に行幸、赫々たる戰果を擧げてゐる我空軍を繼はせられ、又靖國神社に行幸、護國の英靈に御親拜あそばされ、戰死傷兵には祭祀料を賜ひ厚き論功行賞の御沙汰を賜ひ、又第一線には次々に侍從武官を御差遣軍狀を視察せしめられ御紋付き煙草、清酒などを賜ひて御慰勞あそばさるゝなど大御心を注がせ給ふは畏き極みで、漢口陥落に際しては御料馬白雪にめされ二重橋上に出御赤子の奉祝を承けさせられたのであつたが、皇軍の勞苦、長期戰下の時局を思めされ、南京、漢口の陥落にも大奧にては御內祝宴などは一切催させられなかつた御由にて、御日常もお節約を旨とせられご座所の障子さへもお張更へなく、切り張りせしめられたと洩れ承はり側近者は大み心の深遠なるに唯々恐懼感激申し上げてゐる

佛の北支駐屯軍 司令官更迭

【河內十九日同盟】フランスの北支駐屯軍司令官更迭により、河內、海防の植民地こん合保衛隊長カッセビレ大佐が司令官に任命された

汕頭潮陽を 空襲爆擊

【香港廿一日同盟】セン頭來電によれば二十日午前日本軍飛行機〇〇機はセン頭潮陽にとび、同地の軍事施設を爆擊した

最近四ヶ月間の 赫々たる我戰果

【石家莊廿日同盟】七、八、九、十と四ヶ月間に漢口作戰の進捗と共に北支にくりひろげられた殲滅戰の赫々たる結果が廿日左の如くあきらかにされた、此れによると京カン西太、同蒲の各線一帶にわたつて行はれた討伐は實にその回數千六十八回におよび皇軍が遭遇した敵の延人員は卅四万七千、其の遺棄死体は四万におよんでゐる

梅家若附近で 敗敵二百を擊滅

【英山十九日同盟】英山を掃蕩した里見部隊は更に敗敵を追擊十九日午後四時英山東方に至り梅家若ふ近において敗敵約二百を擊滅した

友よ悲しむな！
伊太利失明傷痍軍人 わが傷痍の勇士を激勵
自作のブロンズ像を寄贈

【東京廿一日同盟】〝日本の勇敢な傷痍軍人達よ、譬俄盲目でもこれだけの事が出來る、どうか元氣で〟と盟邦伊太利の失明傷痍軍人が自作の立派なブロンズ像を我傷痍の勇士達へ寄贈、數日前から神田區一ツ橋教育會館二階大日本傷痍軍人會の應接間にかざられて出入する勇士達に大きな感動を興へてゐる、この盲人の彫塑家は大戰のとき兩眼を失つた伊太利軍將校で、傷痍軍人會副會長蒲穆中將がこの夏歐洲諸國の傷痍軍人保護施設視察中六月ローマに赴いた際日本の傷痍軍人を激勵するために贈られたものであるが肝腎の作者の名や經歷は目下調査中であるが像は高さ二尺のブロンズ像で失明者がわが子の兩眼をなでゝゐる感動的な姿で作者は出張したときは自分の眼で愛兒の姿をながめることが出きたが、今歸つてみるとどれだけ成長したかもみられない思はず愛兒の兩眼をまさぐつたといふ自分の體けんから作成したと語つたさうだが、出來榮も素晴しいもの、同會では作者の意にそふやう長く會寶にしたいと意氣ごんでをり又蒲中將が閑院參謀總長宮殿下にこの話を申し上げた所、殿下にも是非見せるようにとの御沙汰があつたので、作者の名が判明次だい御覽に入れることになつてゐる

長沙の焦土戰術に 民衆の反感昂まる
蔣政權狼狽責任者を銃殺

【香港廿一日同盟】重慶來電によれば、過般の長沙大火の前後五日かんにわたり、罹災者無慮二万余に上り、蔣政權は民衆の怨嗟に極度に狼狽し、救護はんを派しておう急對策を講ぜしめてゐるが、僅か五十万元の救護費を出資したのみで民衆の反感かへつてたかまりつゝある

【香港廿一日同盟】中央通信社長沙でん報によりこれが調查を行はしめた結果、長沙警備司令豐悌、警備隊第二團長徐崑及び長沙ー政府公安局長文重夫の三名責任重大なりとし、廿日長沙こう外において銃さつした、長株（長沙、株州）警備司令部ではこれに對し職をはづかしめ、民をくるしめ、命を奉ぜずして職を拋棄したとその罪じようを發表した

英山、羅田の潰滅に 蔣の企圖は一頓挫
脆弱性をさらけ出す

【英山廿一日同盟】武漢陥落後大別山系一帶に於て次期抗戰を企圖しつゝあつたビョウ磊軍は、英山、羅田方面に於て我が徹底的打擊を受け潰滅するに至つたが英山に於て押收せる敵軍機密文書によりビョウ磊麾下廣西軍百七十、百七十一百七十二の他百四十九、百五十百三十八の各師敗殘兵を大別山系立コウ方面に收容し機會を狙つて斬水附近に進擊、我艦船のよう子江航行を遮斷すると共にあはよくば武漢の攪亂を行はんとしてゐたもので蔣が唯一の第四次抗日作戰としてとつたゲリラ戰も先づビョウ磊軍が我軍の血祭りに擧がり早くも蔣の企圖に一とん座を來すと共に其脆弱性を曝露するに至つた

廣九鐵道沿線の 宣撫工作着々進捗
部落住民三分の一既に歸還

【廣東廿一日同盟】十六日來岡田、松岡の兩宣撫工作隊は鯉魚山ふ近より新唐（廣東東方七キロ）に至る廣九鐵道沿線の宣撫工作を實施したが多大の成果をおさめ部落民の約三分の一はすでにき還し、農業をいとなむに至つた

支那二將校、我軍へ志願を申出づ
軍閥を撲滅同胞の覺醒を促したい

【廣東廿日同盟】廣東の治安は逐次回復せられてゐるとはいへ、附近各縣には未だ多數の敗殘兵が治安を攪亂しつゝあるので、これを自分達の手で掃蕩し中華民國國民を軍閥の壓制から救はんとする念願を懷いて元支那將校二人が廿日午後軍當局をおとずれ、日本軍軍役志願を申でた、右は現國民革命軍だい二遊擊隊出身の黄長魏塊カン及び獨立だい二旅出身の公安局ちやう王文群のれう人、彼等は口を揃へて中華民國軍閥を掃蕩せられわれら民衆はまことに幸福の至りである、中國と日本との提携により東洋永遠の平和を招來すべきものであるわれ等は軍閥撲滅の爲日本軍軍役に從事し、中華同胞の覺醒を促したいと述べた、これに對し軍では一應諾否を留保、彼等の行動をみた上で善處することゝなつた

隨縣の陥落

【漢口廿日同盟】カンロの北方京カン線西側の隨縣攻略にむかつたわが部隊は十八日午後敵前五百乃至千メートルにせまり隨縣の陥落も目睫と見られるに至つた

廣西省政府民衆の 抗戰力强化に狂奔

【廣東廿日同盟】我軍の疾風迅雷の如き南支作戰に最も脅威を感じ周章狼狽しつゝある廣西省政府は民衆の抗戰力强化に狂奔してゐるが其一方法として政府が問答十則を作成し府主席黄旭初の名を以て各支廳の長宛てに抗日强化の方法に關する諮問を綴し此によつて强制的に町村民大會を開かせ右によつて答申せしめ民衆をして無理にも抗戰に驅り立てんと窮策を採つてゐる

長沙は廢墟
周恩來危く逃る

【上海廿日同盟】重慶來電によれば先週前後五日間に亘つて猛威を逞しうした火災のため長沙は殆ど廢墟と化し死者約一千に及んだと傳へられ、同地にゐた共產黨領袖周恩來もからうじて身を以てのがれたことが判明した

季宗仁蔣の命に從はず
麾下の軍を荊州に移動

【東京廿一日同盟】確報に依れば李宗仁は廣東陥落以來蔣介石に對し廣西省防衞のためき省方を嚴重要求中であつたが蔣は言を左右してこれを許さず李宗仁は終に蔣と武力衝突を覺悟して强硬き省するに決し現在京漢線西方の棗陽、襄陽、新野方面に集結中の麾下韋雲淞、李品仙軍を續々荊門經由揚子江々岸の荊州に向つて移動を開始したと云はる

新生支那建設の重點
劃一統一を急ぐな 人心把握が第一
百の案より一の事實

臨時、維新兩政府は聯合委員會を結成、新支那の統一へ力強き一歩を踏出すに至つたが更に蒙彊政權も共に積極的に一歩進んで新生支那建設に邁進すべきときがきたものといはねばならぬ、健全なる支那中央政府への育成こそ新政權の長期抗抗を無力ならしめる重要なる一方法であるがさて如何に新生支那を建設すべきかといふ點に對して以下二三を述べて見よう

第一 に重點をおかるべきは新支那の建設には强力なる我日本の指導が必要な事である、いくたの皇軍將士の犠牲と國內の非常時への忍苦に想到する時、之は當然であつて、一部のいはゆる「滿洲國と支那は違ふ、政治は一切支那人にまかせ」との論はまともには受取れない、軍當局のいだく大陸作戰上のことはこゝに觸れないとするも、外交交通、通信、きん融、海外貿易、日滿支ブロック經濟上より割だされたる重要產業の開發などに對しては日本の技術を遠慮なくつぎこむべきである、ただ滿しうと事情も異なるから、其方法については滿しうの樣に多數の日系官吏をもつ國の樣に百事万般にわたつて日本流にやることについては異論もあり、余り日本直譯の法治國體制の强制は首肯しかねる

第二 は政治形態でいかに中央政府が組織化され樣とも劃一てき、形式てきな統一コースへの完成を急がないことである、蒙彊と北支、中支は何れもめざす高嶺は同であるとしても、現在ではそこに自ら異る政治が要求されるは當然である、同じ北支に於ても大正三年以來兵火四度の歷史を有する山東と今回初めて我皇軍が入つた山西省とでは單に日本とのかん係に於てさへも自ら異色があるのは合理てきではあるまいか

第三 は新せい支那の母體たるべき各行政權下の人心の把握である九十パーセントを占める、農民は國民黨政治乃至支那の軍隊に對して怨嗟の情をいだいてはゐるが、戰禍の深刻、治安の不安は永年の抗日教育と相待つて必ずしもいまだ新政權を禮讃してゐるとはいへない、また學せい、青年官吏と比較てき知識かい級分子も國家の將來への希望自己將來の進路にも迷ひ、何れも煩悶をつづけてゐる從つて仕事に積極性なく逡巡や、久しの結果、巧みなる共產黨の侵入を防ぎえない狀態にあり、又一部在住邦人の言動が輕率驕慢で彼等をして日本への信頼を失はしめてゐるてんも少くない、漢口戰を契キとしてよはかゝる人心把握工作の一大飛やくを絕叫するものである、新民會、宣撫はんまたは臨時政府の建設總署など何れも之についいては全力を傾倒してゐるところであるが、まだ〳〵徹底した方策が實行されねばならぬ

しかし何としても治安第一である、殊に現下にあつての應急對策は各地にあつて抗日の迷夢に醉ひまたは共非を悟るも信頼してみを委ねるに道なく蠢動する敗殘兵の歸順工作である、勿論我皇軍の匪賊討伐殊に共產軍の徹底彈壓が肝要事であるが、遂次匪賊討伐の如きは地方自治体の保安隊を誘導せしめて之に委すべきであり、歸順をすゝめせい業を幹旋するに於ては之に要する經費は惜んではならない、しかして其勞力供給を戰禍の農村の道路、水ろの復興にふりむけ、しかも之等歸順者のせい活が保障されてゐることが明白となれば、そこにはまた漢民族の特質で水の低きにつくが如きものであらうキ順工作と同時に重視すべきは農村の復興である、殊に

戰禍 地帶の措置は緊急である、しかも之には自ら順序がある、即ち本年の如きは其ため相とうキン融手段を用ひ、まづ民にしよくをあらしめねばならぬ、不在地主が英佛租かいに事態をよそに悠々貴を極めてゐる事實もこの際忘れてはならない、しかして農耕地の復興を行ひ、さらに進んでこれを指導し、たみに其富力あらしめるほう策を興へるべきではあるまいか、こゝにおいてはじめてこれら大衆は赤化のおそるべきを知り、新支那建設の急務を知るに至るであらう、民によくすらなくして如何なる文化工作も經濟工作も空論に終るは必定である

さらに去就にまよひつゝあるしなのわかき知識かい級、同種人への新東洋精神運動へのよびかけ、共產主義を克服し得るだけの思想体形の指導殊に國民黨治下にある有力人士にして共鳴者あれば虛心坦懷これを招致すべきである、またショウ政權と從來結合して不測の損害を蒙りつゝある財ぼう系實業家、キン融業者などの經濟人に對してもこれを誘導し彼らの損害を可及的に救濟して行くことなどもゆるがせに出來ぬ重大工作である

しかしてかゝる既ていの事實をショウ政權や列國の動向如何に拘らず一日もはやく作りあげてこれを內外にみせることである、百の案よりも一つの事實である、日本人は現地にあつて痛感することは其意圖頗るよいに拘らず、とかく

議論 が先になつて實行が後れるてんである、斯の如きは東亞復興の黎明期に當つて一面事大的であり、一面同化力の旺盛な漢民族をして共同防共、東亞大同のてんにまで引張つて行くのに最も避くべきことである、自主獨往の日本精神をしな各層に浸透せしめることが結局新せいしなの建設に對してわれら日本人に課せられた本務であると痛感されるのである

購讀料改正廣告

一九三九年一月一日より本紙購讀料を左の通り改正致します

料金 一ヶ年 六十鈩
外國行 一ヶ年 百二十鈩

一九三八年十一月

日伯新聞社
伯剌西爾時報社
聖州新報社
（いろは順）

實說 忠臣藏
（禁上演 映畫化）
悟道軒圓玉 講演

第百九十三席

鰥から立ち出でた偉大の武士が日頃尋ねる不倶戴天の父兄の仇と知つて槍持の七平は余りの意外に愕然とした。その面を見て沼澤次郎右衛門は更に言葉を繼ぎ

「其方の兄傳五郎には播州室の津にて出會つたが幸ひに一刀兩斷に致した處、其の弟七之助といふ者が又しても戀りずに我を覗ひ居ると聞き、思ひしに圖らざりき此處にて面會致ふた、睫毛の塵に等しき下郎、此の場に於て一命を貰ひ受ける、冥途に參つて親兄に對面いたせ」

七平はチリ〳〵と進み寄り

「默れ、さては汝が沼澤次郎右衛門なるか、先刻より訝しく存じたる故、我亦本姓を名乘つて汝の名前を探つたり、よしや勞れ居つても何此の儘に致し置くべき、澤木の伜七之助、親の仇なり兄の敵、觀念いたせ」

云ふより早く一刀を拔いた其時傍より門人が

「先生、貴下がお手を下すまでもございません、我々が成敗いたします故御見物を願ひたい、ヤイ下郎、覺悟に及べ沼澤の門弟にて然る者ありと知れたる間部源八郎とは我が事なり」

と斬りつけた。七平は心得たりと體をかはして手元に飛こみ右の肩へ割つけたから、然る者ありと知られたる豪傑もアッと一聲其の場に斃れてお陀佛となつた。これを見ると卑怯にも門人一同拔き連れて左右より斬つてかゝる。

七平は一心不亂に拂ひ除け前に現れ後に隱れて大勢を相手に打合つたが、斯うなると大勢はいかぬもの、同士打をしてコレは失禮と云つたり、自分の刀で怪我をする沼澤主膳此の態を見て

「各々多寡の知れたる下郎一人、我れ茲に於て斬り捨くれん、下郎、イサ觀念しろ」

と彦山僧正貞秀が鍛へたる大劍の鞘を拂つて出たる沼澤は七平目懸けて斬り込來る。

七平は當の敵と思へば一生懸命受けつ流しつ渡り合ふ。なれども七平は病氣揚げくの上に多勢に爲に打たれて勞れてゐる、殊に沼澤とは技倆が違ふ、此奴は今富田家にて五百石を領する者とて、七平の刄をかはして置いてエイと橫に拂つた。それが爲脇腹深く斬こまれてバッタリ倒れる。大勢の門人が飛びかゝつて止めを刺さんとするを沼澤が、

「待て、止めを刺すのは暫く置いて永く苦痛を與へてくれん」

「そして其處置は如何……」

「苦しうない、無禮を爲したる故に無禮討に致たと申す、當方にも亦討たれたる者がある、然しこの由を屆ずばなるまい」

見ると旅館の木村屋では驚いて戶締りをしてしまつた。其向ふに桔梗屋といふ旅館がある、こゝでも驚いて今しも戶を締めやうとする所にツカ〳〵と入つて來たのでモウ間に合はぬ

沼澤主膳は上り端に腰うち掛けて

「コレ茶を持て參れ」

桔梗屋の主人はビックリして

「さあ大變だ、早く戶を閉めればよかつた、誰れか茶を持つて行きなさい」

と言つたが女中共は面を見合せて

「厭でございます」

「厭だなどと云ふと斬られるぞ」

仕方がなしに茶碗を盆に載せて

「ハイ…お…お…お茶を…」

と女中がふるえ乍ら持てきたが大概途中でこぼれて了つた

社説

冷靜に考ふべき邦語教育(四)

一

吾人は本題のもとに、邦語教育の忽にすべからざるを論じてゐる時に、第二世の思想善導を以て任ずる龍土會が、去る十九日の第三土曜日に本年度最終の定期總會を日本倶樂部で開催し當夜は特に「日本精神」の論題下に一般學徒の大討論會を行ると云ふので本文の記者も大なる興味を以て、是れが傍聽に出掛けて見たのである。

二

聽いてゐると、宮腰千葉太氏が是れまで毎例會に講義し來れる古事記及び其他に就いての學年試驗とも見る可きもので、聽講學生が「日本精神」を何の程度まで會得したかを試さんとするものであつた。或學生は、日本精神を理論的に理想と生活の兩面から説明に努め、日本人中でも日本精神を解せざる者、理解しても會得しないが爲め却つて破壞行爲に出づる者あるを遺憾とすと述べた。又或學生は、日本精神と云ふやうな深淵なるものは、口や言葉で言ひ盡せるものでなく、感ずるより外に方法のないものだから説明せんとしても得べからずだと言ふのであつた。

三

兎に角第二世には、日本には他民族と異つた日本精神なるもの有ることだけは朧氣ながらも覺り、之は永世不變なものだとは、敎へられた通りに記憶してるやうではあるが、然し之は當夜集まつた第二世數十名中僅其一割にも達しない感じを受取れるを、吾人は甚だ遺憾に思つたのだ。ところが討會者も之を感じてか、方向一轉、日本精神に對する的確な説明を來會者たる第一世側へ振り向、而も名指し、是れが説明を求めたのであるが、之は亦甚だ宜くなかつたのだ。何ぜならば、指名の選に當つた人は言はざるを得ない破目に陷つたし、言へば自己流に斷片的な事を言ふより仕方がないので異論續出狹義なものもあれば廣義なのもあり、我田引水なのもあれば、型に嵌まつてゐないのもありで「何だ第一世にも纒まりのない日本精神を、第二世がどうして會得し得るか」と不平不滿を私語く者を多く出すに至つたからである。

四

然し其處は宮腰氏心得たるものにて、まア此の邊で解決付ませうとして、書物にある通りの箇條を並べて定義を付し、是れで先づ一段落はつけたが、其次に出た「日本精神を會得するには日本語でなくては出來ないか何うか」と云ふ事に付き、今度は第一世と第二世とが入り亂れの形ちで討論が開始され、日本精神は日本語を通してでなくては絶對に理解し得ないと云ふことになり、それが爲に日本語教育を第二世に施さねばならぬのだと、敎育會の連中が強調するのであつた。

五

が、併し吾人に言はすれば日本語教育は日本精神を會得せしめるに必要缺くべからざるものであるとしても、教育には德育以外に何教ふべき多くが課せらるゝものなるが故餘り、一方に偏した氣持を父兄に持たしむるを考へねばならぬと同時に、日系伯國人たる我等の第二世を其歸向に迷はしむる事があつてはならないのだ。此の點から云つて今回龍土會の催した討論會はその態度缺けた處あるのみならず、其席に集まつた第二世の大部分をして日本精神に對し一種の不可解の念を起さしめしを吾人が甚だ遺憾とし、斯の如き會であるならば寧ろ此の際解散するを可とすと叫びたいのである。

軍事的相互協力案 米洲會議で討議か

北米の軍事同盟提案説

【ワシントン十九日UP】政府に接近した信ずべき方面からの報道に依ると、ルーズベルト大統領は米洲諸國間に外敵襲來にそなへる軍事的協約の成立を希望し、リマの米洲會議に該案の具体化を見るべく期待してゐるといはれる、右に關し傳へられる所に依ると本會議出席の米國代表は相互的防護問題に關し詳細なる報告を他國代表に發表するといはれるが、當市官邊では北米が正式な軍事て合同盟を提案するか否かは不明だと言つてゐる

リオ方面へは北米は本會議に同盟を提案するだらうとの風説が傳へられたが、一高官は事實無根なりと否定した、本會議に臨む北米代表のとる確實と見られる態度は、過日ウエールス國務次官が聲明した我等は如何なる攻擊にも應ぜられる樣あらゆる方法を講じつゝあると共に、又西半球を外敵の脅威から守るために大陸内他民主國と結合する標準備中である の言葉をはん映ずるものと信ぜられてゐる、まだ議事日程の編纂も終了してゐない今日各國から種々の討議事項の提出される可能性あり、國防問題も會議の趨勢、狀況などに依り新しい發展を見るだらうと期待されてゐる

米政府改造説 ル大統領否定

【ワシントン十九日UP】最近國外方面に米政府の改造案が傳へられてゐたが、右に關しルーズベルト大統領は絶對事實無根なりと否定した

米洲會議出席の四伯國代表出發す リマ着は來月五日

來月早々から秘露首都リマ市で開催される米洲會議出席の伯國代表四名は去る十七日外務省を訪問オズワルド・アラニャ外相に出發の挨拶をすると共に會議に對する最後の訓令を受け、翌十八日午後四時リオ出帆のアルゼンチン號でブエノス向け出發したが一行はまづブエノス市に到着、同市から秘露に向ひ、リマ市に着くのは來月五日ころの豫定である

獨逸の植民地要求は軍事的必要から打算

佛國に反對氣勢擧がる

【パリー十九日H】本日行はれた佛國活動團主催の會合において、ウエイガン將軍はドイツの植民地要求に關し大要次の如く述べた

ドイツの植民地還附要求は經濟的なものでもなく、又地理的條件に依る要求でもなく、全く軍事的要求によるものである、ドイツの人口　佛國の人口　あるが、こ　人は海に隔　外にあるのである、ドイツが植民地を要求するのは、紛爭の場合彼等を本國から決定的に切りはなすために根據地を必要とする所から來たものである

と述べたが、ギヤナ選出議員達も佛領植民地の對獨切讓には絶對に反對である旨を叫んだ

チ國大統領選擧 ハ氏當選せむ

【プラーグ十九日H】來たる木曜廿四日、チェッコ下院議會は大統領の選擧を行ふが、ハバロコウスキー氏が當選するものとみられてゐる

諾威女王薨去 諾、英、佛の國喪

【倫敦廿日UP】御病氣に依り手術を受けさせられたノルウェーのマウド女王は經過思はしからず、本朝零時廿五分薨去せられた、女王は一八六九年十一月に御誕生になり、英國の故皇帝エドワード七世陛下の第五子である、女王の訃に依りノルウェー、英、佛三國共に國喪を發表した

田園の聲

瀧總裁首相訪問

廿一日午前十時荻窪の私邸に瀧企畫院總さいの來訪を受け企畫院草案の興亞院官制案について詳細なる報告を受けた

南氏首相訪問

樞密顧問官南弘氏は廿一日午前十一時五十分近衛首相を訪問目下諮詢中の興亞院官制案は大した問題もなく樞密院を通過するであらうとの樞密院の意向を述べた

首、陸相會見

首相、陸相の定例會見は廿一日午後零時廿分官邸で行はれた

豫算の査定終る

各省の明年度豫算の査定は廿一日を以て一まづ完了した旨大藏當局は次の如く語つた

明年度各省の豫算査ていは本日で一まづ終つた、まだ殘されてゐるものは各省の復活要求についての査ていだけである、之は時節柄陸海兩省が多額の復活要求してゐるが、査てい額卅七億エンが來る廿九日の豫算閣議で承認される害である

廿一日大藏省より査てい額の通知を受けた内務省では直ちに會議を開き土木國策(水害防止)に就ての復活要求額を協議した

聯合青年大會

廿二日は全國各地青年團に令旨をたまはつてより滿一年めに當るので帝都聯合青年團主催のもとに盛大な記念式を行つたが

當日は荒木文相の臨席あり全國青年團代表千七百名の出席をみた

總動員聯盟總會

國民精神總動員聯盟では廿一日本部で總會を開き決議事項を全國九十一團体に通知した

社會大衆黨大會

社會大衆黨では廿一日芝公園に於て第二回黨大會を開催、役員の選擧を行つた

黨首　安部磯雄

書記長　麻生　久

歡迎午餐會

東京商工會議所では目下來朝中の中華民國維新政府梁鴻志一行の歡迎午餐會を廿一日正午より丸ノ内工業クラブに於て開催、かん係者卅六名出席

ソ聯から釋放

ソ聯當局に不法監禁されアレキサンドル、ハバロウスクの獄裡に呻吟してゐた邦人廿二名は、我外務當局の强硬なる談判の結果愈々廿二名釋放される事になつた、一行は北樺太興業會社小島し他内地人五名、鮮人十六名で、廿一日午後二時ウラジオ出帆のサイベリア丸で敦賀むけ歸國する筈

英靈晴れの凱旋

中支、南支方面で活躍護國の華と散つた英靈は廿一日横須賀に凱旋したが、中に小出英一郎(廿二才)東京市下谷區御徒歩町三ノ九八出身で兩親兄弟親族のない文じ通りの孤獨、引受人がないので横須賀で海軍葬を行つた、小出しは揚子江掃海作業中キ雷に觸て名譽の戰死をした勇士である

重慶在留外人

目下重慶に在留してゐる外人は二百九十八名にのぼつてゐるが、その内譯此の通り

英人五十八、佛人六十三、ソ聯人五十三、獨人四十二、イタリー人十二、ギリシャ人六 其他六十四

軍需品輸送禁止

佛領印度支那當局は最近自國領内支那側軍需品輸送を禁止する旨發表、大センセイションを起してゐるが、重慶發行の支那漢じ紙は左の如くどくづいてゐる

佛印當局が既に日本側の要求を入れ軍需品の輸送を禁止した、之は國際聯盟の規約を無視した行爲で宜しく此の違反者を處罰すべきだ

デマ放送に躍起

南洋の華キョウより財的援助中止の宣告をうけた支那側はひどく狼狽し、從前通り送金を强要してゐるが

「廣東を奪取せねば承知せぬ」旨の通告に接し、支那側はデマ放送、デマ報道に憂身をやつしてゐるが、廿一日「支那軍廣東市郊外に肉薄す」と放送、漢じ新聞配達の爲九十臺のトラックをよう意して大々てきデマ報道に着手した

軍需品輸送活潑

廣東陷落後ホンコン―廣東間の軍需輸送杜絶しホンコンに軍需品山積してゐるので、今度ホンコン―ビルマ―ウンナンへの新輸送路を開き輸送船四隻で盛んにホンコンより運搬してゐる

伊佛關係正式に復舊 佛大使信任狀捧呈終る

エチオピア併合を承認

【羅馬十八日UP】新駐伊佛國大使アンドレ・フランソア ポンセ氏は明日キリナル宮にむかひ、午前十一時伊太利國王エチオピア皇帝に信任狀を捧呈するが、これを以て佛國は伊太利のエチオピア占領を正式に承認したわけで、すでに二ケ年前以來から斷絶してゐた兩國外交關係は再び復舊、常態にかへることになり英佛のエチオピア承認で、同占領不承認の態度をとつてゐる大國は北米とソ聯丈となつた、伊佛關係がかくして表面上常態に復したとはいへ、內部てきにはまだ冷たいものがのこり、中絶のまゝとなつてゐる伊佛會談も直ちに開始されれ相な氣配を示して居ず、消そく通の報ずる所によるとムソリニ首相は本會談さい開をあんまりいそいで居ず、むしろフランスが對スペイン約束を實行し、ソ聯との關係を斷ちきる事をいそいでゐるといはれる

【羅馬十九日UP至急報】フランソア・ポンセ駐伊佛國新大使は本日午前九時伊太利國王エチオピア皇帝に信任狀を捧呈、これを以つて佛國は正式に伊太利のエチオピア占領を承認したわけである

伊國エチオピア併合に未承認國はソ聯と米國

【ローマ十九日同盟】新任駐伊フランス大使フランソア・ポンセ氏は十九日午前十一時キリナーレ王宮に參內、エマヌエル三世に謁見伊太利國王並にエチオピア皇帝宛の信任狀を捧呈した、斯てフランス政府は伊太利のエチオピア併合を承認したわけだが、これに依つて伊太利のエチオピア合併未承認國はソヴエト聯邦並に米國の二國のみとなつた

廣告は時報社へ

駐佛伊大使も赴任 二ケ年ぶりに大使交換

【パリー十九日】ガリラ駐佛伊太利大使は明日早朝當し着の豫定であるが、氏は直ちに就任するはずであるかくして二ケ年間斷絶してゐた外交關係は正式に復活したわけである

倫敦海軍條約に伊參加を通告

【倫敦十八日同盟】イタリヤ政府は十八日英國外務省に對してイタリヤ政府は一九三六年のロンドン海軍條約並に一九三八年六月のエスカレータ條約に關する宣言(三万五千トン制限撤廢)に加入する旨正式通告した

【倫敦十八日H】駐英伊大使は本日外務省へ伊太利は一九三六年の倫敦海軍條約及一九三六年の六月聲明に加入する事を通告した、該聲明で條約國は軍艦の制限噸數を三万五千噸迄引上げることを要求したものである

世界最大强力の四万五千噸艦建造

北米の海軍擴充案

【ワシントン十九日H】クロード・スワンソン海軍長官はルーズベルト大統領へ送つた海軍年鑑報告書にて水兵を增加し、現役數を十一万七千人に達せしめねばならぬ旨强張してゐる、現在の世界的不安定から見て、即時部所に就き得る充分なる乘組員を擁してゐねばならないのに、現在北米はその必要の八五%しか有してゐないと云ふのであるが、然し現米海軍兵の才能と訓練は充分勝利を確信して好いものであると述べてゐる、更に氏の報告に依ると、本年六月に約百隻の軍艦建造中であつたが、三万五千噸級艦に對應する、現ざい世界中で最强力艦とみられる四万五千噸級艦の建造案も樹てられてゐる、本報告書の注文してゐる諸條項は

一、商船の近代化　二、海軍士官の增加　三、豫備海軍の演習强化

等であり、工場改造案は一億七百万弗を要求してゐる

アメリカ海軍 三主力艦建造 各艦三万五千噸

【ワシントン十九日H】海軍省からの發表に依ると、三万五千噸の主力艦三隻の建造契約が成立した、此の中二隻はニュ　ヴアジニアのニューポート造船所で建造され、殘りの一隻はノーホルクの政府の造船所で建造される

獨佛兩國間に不可侵條約説

英國デ紙の報道

【倫敦十九日UP】本日のデイリー・エクスプレス紙は近日中に獨佛間に平和條約が締結され、世界を驚かすであらうと報じてゐる、該條約は不可侵條約的なものであるが、內容は

一、兩國戰爭惹起防止の佛獨對外政策遵守と平和保證措置强化

二、兩國間に生じたる異見は平和的折衝で解決する事

三、兩國共に現國境の不可侵を認める旨の同時聲明を行ふ

本年上七ケ月の伯國輸入增加

前年比卅五萬コント增

本年一月から七月迄の七ケ月間伯國輸入額は三百十二円二千二百七十二コントで、前年同期の額に比し卅四万五千百七十八コントの增加となつてゐる、輸入品別にみると動物類が一三、四五一コントで前年より一一、〇二七コント增し、原料品が九〇二、一三〇コント、前年より一四三、九一七コント增、食料品は反對に減少し、五二一、一五一コントで前年同期比三八、四八二コント減、工業品か一番おほく、一、六八五、五四〇コントで前年比二二八、七一六コントの增加である

來農年の北伯綿棉生産豫想

一億三千七百万キロ

最近發表された統計によると一九三八―三九農年に於る北伯の綿棉生産推定額は一億三千七百卅万キロで、州別にしてみると

パラー州三百万キロ、マラニヨン千二百万キロ、ピアウイ三百万キロ、セアラー二千八百万キロ、北大河二千万キロ、パライバ五千万キロ、ペルナンブコ二千五百万キロ、アラゴアス一千万キロ、セルジツペ五百万キロ、バイア州北部百卅万キロである

御婦人お孃様方お待兼ねの

男女洋服裁斷獨習書

愈々發行發賣　申込殺到、賣切れぬ内に是非一冊

內容―圖案による割出、寸法並に裁方を平易に解説してあります、三十六頁

特價 參拾釬　ボンペイア町 郵函廿四

發行人 古田洋服店主

特約店 ボンペイア町 河野商店、森シンゼル代理店

定價卅六釬 同 マリリア市 カーガ・セギ、西川商店

鍼灸道の司家

宮內省

典藥頭白川法眼公認柳當宗家

顧問 灸法學泰斗原醫學博士

◉昔も今も効きめで名高い

本流家傳 **磯谷鍼灸療泉本院**

公認鍼灸醫學得業士勲七等

鍼灸醫 磯谷龍峯

〇マリリヤ市ルア・パエス・レーメ二十二番のA(元朝日旅館四の辻角南側四軒目

尋人廣告

左記ノ者現住所承知致度ニ付本人又ハ御存ノ向ヘ當館宛御一報煩度

記

北海道與市郡與市町字澤町七十二番地　奈良久吉

京都府天田郡下夜久野村字畑二百十二番地　赤井新吾

福岡縣三潴郡大川町　オサ島幾太郎

鹿兒島縣姶良郡清水村　中尾太助

長崎縣下縣郡久田村　中山事

岐阜縣惠那郡三郷村野井二一七　安藤安太郎

廣島縣佐伯郡地御前村　谷口昇

本籍地(不明)　桑原太郎

昭和十三年十月十八日

在サンパウロ 帝國總領事館

ランプ

初めて出來た石油をガスにするアポロランプ

定價 百四十五釬レース

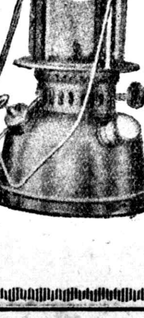
(外ニ荷造送料實費申受ケマス)

光は!!

白色百燭光＝ガソリンより明るく

危險絶無＝石油は引火點低し

經濟＝一立で三十時間



お求は弊店若しくは各地邦人商店にて

伯國一手販賣元

聖市 郵函三一二二 **伊藤商會**

ブラジルーの家庭温泉藥

遍照湯

素晴しい藥効さ! 優れた特長!

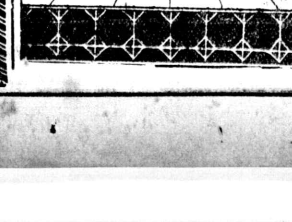
主効―神經痛、リウマチス、土カブレ、アセモ、其他皮膚病一切

製劑元祖 神戸市島田大光堂

伯國總取次店 カーザ富山

T. ITO - R. Bueno de Andrade 481 S. Paulo

各地の藥店及商店に有りますからお試下さい



TAMEYASU TEZUKA

PERITO CONTADOR

FSCRITORIO: BAURÚ
PREDIO ABELHA 2.º AND.
Iua 1.º de Agosto
Tel. 270

ESCRITORIO: SÃO PAULO
PRAÇA DA SÉ 46 2.º AND.
Tel. 2-7432. C. P. 638

不正入國者

△密航者　△一時的滯在者(六ケ月以上滯在者)

△秘露より正當の手續なくして入國せる者

△一九三四年六月以後農業移民として入國せる者が四ケ年經過せざる內他の職に轉職せる者

△其他正規の手續なくして入國せる者は在留年數を問はず至急正當の手續を要します

ノロエステ線及**パウリスタ**線の方で右の手續をせねばならないお方は當事務所をお訪ね下さい

手塚法律事務所

公認經理士 手塚爲泰

バウルー事務所 プリメイロ・デ・アゴスト街(プレデイオ・アベーリア二階) 電話二七〇番

聖市事務所 プラツサ・ダ・セー四六番三階 電話二―七四三二 郵函六三八

豐作の悲哀

漁夫の利占めるか伯國 生產過剩あえぐ諸國

小麥賣付戰いよいよ白熱化

今年は世界的に小麥の豐作で此が大生產國である北米合衆國、カナダ及びアルゼンチン並に歐洲の數ヶ國は、其消費地を探し求めることに狂奔してゐる。通常なら外國から大量を輸入する佛國に至るまで露國產や其他の諸國よりも却つて安價に投賣りを始めてゐる樣な有樣である

其中でも一番頭を惱ましてゐるのは米國であつて樣々な方法で之が切りぬけ策を講じてゐる。支那に對する棉麥借款等にしても支那を援助するよりも、自國の農民層救濟が目標である ちかく北米がブラジルと珈琲とこむぎを交換する方法で

商賣を 始めやうとしてゐる位で、此の方法は曾て一九三一年に經驗濟で、余り評判もかんばしくなかつたゝめ、今度は相當慎重な態度をとつてゐるといふ

ブラジルにとつては、なんとしても、珈琲の最大華客である北米からの申込みであつて見れば、さう無下には斷ることも出來ぬさうで、當局はリオの伯國大使と會談中とあるが、商人すぢでは相當强硬に反對してゐる者もあるらしい特に、伯國を最大の得意として麵粉界を支配してゐる

亞國の 輸出業者の暗躍くは實にすばらしいものといはれてゐるが、伯國内の消費者としてみれば、生活必需品であつて、何れにしても輸入せねばならぬ品であるから、出所の如何は問題ではなく、まづ安價を先決とする二個の輸出國を競爭せしめて安い方から買ふといつた風の商談ができれば漁夫の利は伯國が頂戴といふわけである

聖フランシスコ學園 卒業式

聖市の聖フランシスコ學園では來る廿七日第七回卒業式並に幼稚園第一回保育修業式を擧行することになつた、式後兒童學藝會が行はれる

"嵐"吹かば吹け

颱風圏外 學び舍に陽映ゆ 子らの胸望に滿ちて イタケーラの開校式

既報の通り中央線イタケーラ植民地では十九日午後一時から督學官視學官、地方有力者を招待して邦語敎育の嵐をよそに公認私立イタケーラ小學校の開校式をはなばなしく擧行した、同地グルーポからも四人の敎師が五十余人の生徒を引率して參加、ディア・デ・バンディラのフエスタを賞すなど和かに情景を添えた、學務部長として松本圭一氏が葡語で同植民地建設の歷史から說いて伯人の協力を望み、次いで鎌田博士も葡語で挨拶をなした、靑年會員在植者一同約百人が出席し、校舍を埋めた 現在生徒數四十五人、敎師にリンス師範出身の鎌田キマ子さんと木下誠一氏が任命され近く寄宿舍の設備をなす企てである

苺實る理想郷 人みな堅實一路

中央線イタケーラ植民地は十五年の歲月をかされて次第に充實し、郊外植民地としての特色をみせてゐる、モランゴは十月に降雨多かつた爲め品傷みが多かつたが目下すでにベゴ・シヤートの出廻はり季にいり一ダース五ミルといふうらやましい相場である、養鷄も井口氏の二千五ひやく羽を筆頭に高垣氏の千二ひやく羽平均五ひやく羽位を飼育し總數成鷄一萬羽内外に達してゐる、在植者六十余家族が植民地の基本財產を作る爲協力して二十アルケールを二十年無料借地の條件で地主と協定してユーカリプト植栽の計畫を進めつゝある

印刷物は…… 廉價、迅速の時報社へ！

スポーツ界賑ふ 各地の行事

バストス

實業リーグ終る 市街地軍優勝 對產組戰15―10

技練と親ぼくと團結心を養成すべく生れたバストス實業リーグ戰が去る十五日の市街地對產組の優勝戰によつて終了した

市街地軍は接戰の末產組軍を十五對十のスコアーを以てしりぞけ第一回リーグの覇者となり得た

三位決定戰ではブラ拓が十一對六の大差で運組を敗つた

各チームの成績を揭ぐれば左の如くである

一位　市街地　五勝一敗
二位　產組　三勝二敗
三位　ブラ拓　三勝二敗
四位　運組　二勝二敗
五位　製材　―四敗

市街地對產組戰終了後左の順序により閉會式が擧行されたが

一、默禱一分間　本田總務
一、閉會の辭　同
一、戰績發表
一、賞品授與
一、總裁挨拶　畑中總裁
一、万歲三唱

終はつて茶話會が開かれた

記者クラブに初の凱歌 文教會を敗る

"技には强いが"情"にもろい爲戰ふ毎に敵に花をもたせる事のみしてきた記者クラブが本氣になればこんなもの……遂々大敵の首級を擧げて初の凱歌を擧るに至つた

廿日、スダン球場に於て行はれた記者クラブ對地方主事連を含む文教會この野球戰は記者軍竹田投手の緩急自在の投球に文教軍は全く飜弄されて十七―四の大差で軍門に降つた

蜂谷球場でブラ拓の兄弟試合

廿日ブラ拓では蜂谷球場に於て銀行、拓殖、商事三部對抗の野球を催したが銀行部斷然强く第一位、商事部、拓殖部の順だつた

劍尖火を發す 雄々しき若人の意氣

法大生マリオ君柔道に優勝 イタペセリカの武道大會

聖市郊外イタペリカ靑年會主催の武道大會は一昨日午前九時半から同地小學校で華々しく擧行された、當日は柔劍道聯盟本部から審判員として小川柔道五段、菊地劍道五段の兩しもわざわざ臨席、其他文教會岡部社會部長等聖市からの來觀者多く、地もとの人々を合せて未曾有の盛況を呈し、柔道靑年組中法大生マリオ・ミランダ君優勝、二位に又デビュー君入賞するなど微笑ましい日伯親善風景も展開 午後四時閉會した、關係者側でも邦語敎育の危機を目前に控へ日本精神鍛練として各所でかゝる催しをなすことを希望してゐる

△劍道少年組 一等 島袋廣貞 二等 篠原敏正 三等 村上田志
△劍道靑年組 一等 村上 二等 松山 三等 遠藤 四等 森 五等 谷川
△柔道少年組 一等 野崎 二等 本田 三等 富川 四等 坂本 五等 吉本
△柔道靑年組 一等 マリオ・ミランダ 二等 佐藤 三等 デビュー 其他イタペセリカ 林巽

曉星學園本田の兩君共に柔道は斯道奬勵の意味で聯盟本部賞をそれぞれ授與された

雜記帳

◇ソロ線ダツイ驛にうまれた四ツ兒の一人ゼツリオさんが死んでしまつた、殘る三人はどんな事があつても丈夫に育てゝみせるとお醫者さんは頑ばつてゐる

◇先ごろユダヤ人子弟の學校入學を禁止したナチスは、今度ダンチツヒのシネマ館へユダヤ人入場禁止の高札を揭げた

◇廿日、聖市は珍野球で賑つた曰く、記者對文敎會、ブラタクの"兄弟試合"

◇記者對文敎戰で最も印象に殘るプレイは――高くあがつた中飛をグラブで受けず顔面で發止と刎ねかへした花田中堅手の勇猛果敢の美技？だつた

◇ブラタクの井久保さん、あの大キイ圖體（オット失禮）でレフトをまもり攻守ぶりを發揮したといばつてゐる あとでほかの人に聞いてみればなんのこと一本も球がレフトへ飛ばなかつたさうな……

◇齋藤老投手がヘタばつたので辻川さんがプレートを踏んださうな……だから珍試合――

◇聖市の富田屋去る日曜日のエスタード紙へ廣告を出した、曰く スキ燒、其他日本獨特の料理各種、豪奢？で異國情緒タツプリな日本ざしきあり、三味線、オドリ、ナンデモみなさまの希望に應ずるといふのだが、トンダ屋氏なかなか頭のいゝところをみせてゐる

◇南大河オゾリオ街道の小麥は大豐作で收穫高十三萬俵を越へるだらふと

◇蒲國の意地張りの强いお百姓俺の左利きぶりを見ろと人のとめるのもきかずピンガと蒲萄しゆを散々あふりとうとう死んぢまつた

◇チエテ靑年聯盟では來月十一日市街地聯盟道場に於て第二回劍道リーグ戰をもよほす

◇四日に亘る會議をおえた地方主事連昨夜、日本クラブで總領事館側と懇談會開催、今朝それぞれ任地向け出發した

◇來る二十七日サントス入港のサントス丸での來伯者は再渡航者十六名だけである

◇ソロ線アグードス市、パボンシ靑年團は團員諸君の努力に依つて百ミルの患者輸送機製作費を募集、昨日總領事館宛送附してきた

◇コチア產組事務所では今度新らしく交換台を設置した、モシモシ孃には今迄購買部カシヤにゐた石丸マリナ孃を拔てきしサーヴイスに當らせてゐる

一萬册の書籍 文教會に着く

過日サントス入港のブエノス・アイレス丸便にて文教會圖書部あて母國から兒童、靑年兩文庫をあはせて一萬册の書籍が到着した、故近日中文教會各區文庫に送ふすることになつたといふ、サンパウロ文庫の分は既に去る月曜日から一般の閲覽に供されてゐる

移轉する同仁會 今月末日本病院へ 夜間診療所も引越し

聖市シルベイラ・マルチンス街のむさくるしい家に位した同仁會はいよいよ本月三十日を期してヴイラ・マリアナの丘にそびえ立つ白亞の日本病院内に移轉することに確定した、同時に從來のや間診療所も病院内移 來る廿八日か、晝かん診療所の名義で臨時開設一般患者の便宜をはかる事になつたが受付時かん午前中九時から十一時まで午後は二時から四時までと決定

今夜 全トーキー『軍國子守唄』 テアトロ・サンパウロ

全トーキー「軍國子守唄」はいよいよ今日テアトロ・サンパウロにおいて公開される なみだあり笑ひあり、戰りつある今まで輸入された邦畫の中でも出色の部に屬する映くわである東家樂燕の名調しが最後まで觀客を樂しませてくれる

銀紙祖國へ サントス日會取扱

去る十六日サントス出帆のブエノス丸便で第四回分十キロの銀紙を陸軍省宛送附したサントス日會では"もつとたくさん集めてサントス市郵函七一九番宛送つて下さい"と全伯同胞の奮起を促してゐる、同會宛最近銀紙送附をなした人々は左の通りである

サントス、ウェオン小學校生徒 同、サントス日本人小學校せい徒一同、岡田喜義、里見一郎、東洋寫眞館濱野寅吉、竹本龜三郎（以上サントス市）サントス領事館、大正小學校せい徒、平山澄子、植木武雄（セ・セザール）佐々木市治（ノーバヨーロッパ）マリリア昭英塾寄宿せい徒一同、菅野喜作（ポルポレーマ）グワランタン靑年聯盟

飛躍する聖州蜜柑輸出 半期に二百萬箱

本年上半期の聖州蜜柑輸出高は二百二万三千箱であつた、最高輸出數をだした月は五月の各九十九万一千三百三箱四月の五十八万四百箱で、一九三六年の輸出數百廿万箱、三七年の二百十七万はこに比し大きな飛躍である

晩春の野へ ピクニック 商工組合員の

聖し商工組合では毎月開催の午餐會で組合員相互の親睦、知識の交換の點については遺憾の點はないが家ぞくの者までうち解けて和やかな會合をなす機會のないことはまことに遺憾であるといふ趣旨のもとに來る二十七日日曜日こう外むけ家ぞく同伴の親睦ピクニックをもよほすことになつた、場所はタベンサンニヤ、ゴルフ・クラブのカンポ（ヴイラコンセツソン）當日は午前十時までに舊メルカード前のサンベルナルド、サント・アンドレ行きのり合自動車發ポントに集合、特別自動車で同地むけ發、午後五時までに聖し歸着のプログラムである、う天の場合は順延する由

農產品市況 （廿一日）

パウルー市竹田兄弟商會

品名	安値	高値
アロイス 極上	三〇鈩	鈩
上		三九
並		六〇、
メイア		三五、
新 フェジョン		一五、
クラーロ		三三、
エスクロ		三八、
ミーリヨ		
コムン		七、
アマレーロ		
バタテアマレロ		
メンドイン		三三、
マモナ K		三〇

蔬菜相場 廿一日

コチア產組調

品名	安値	高値
セボラ 地方產箱		一八、
◆珈琲		
トマテ 極上箱	九〇〇鈩	
レポーリオ 袋	三、	五、
ピメントン 箱	七、	三、
パージ 同	四、	七、
エルビーリア 同	八、	三、
ポプリニョン 同	四、	七、
ペピーノ 同	六、	九、
人參 二打		一、二
コーベフロール 打	五、	一〇、
パ・ドーセ 袋	七、	三、
茄子	九、	一八、
玉子 打	三、	三、四

重要商品市況 十一月廿一日

品名		
○爲替 單位ミル リブレ		
對米	一七、七〇〇	
對日	四、〇〇〇	
○珈琲 サントス四級	三〇、〇〇〇	
○棉花五級 買値	五〇、	賣値
○マンジョカ粉 50K	三二、五	
○マモナ K		鈩五〇
○小麥粉 一級	四〇鈩	四一鈩
二級	三七、	三八、
○砂糖 以下60K 極上	六七、	六八、
上等	五八、	五九、
○フェジョン		
△ムラチンニョ スペリオール	四四$	四五
エスペシアール	四二	四三
ポン	四〇	四一
レグラール	三八	三九
△コーレス ブ・グラード	四八	五二
同ミウード	三八	四〇
プレット	二〇	二二
マンテイガ	三六	三八
シュンビーニョ	四八	五二
カナリオ	四八	五〇
ロシンニョオ	五四	五六
○ミリョ アマレリンニョ	二三	―
アマレロ	二三	―
アマレロン	二一	―
○アロース △アマレロン		
エスペシアール	八二	八三
スペリオール	七六	七七
ポン	七二	七三
レグラール	四九	五〇
△カテテ エスペシアール	五二	五三
スペリオール	五〇	五一
ポン	―	―
△メイオ	二七	二八
△キレーラ	一七	一八
○バタタアマレラ 極上	二〇、	二一、
上	一七、	一八、
○セボーラ 南大河產 15K		八〇
○アルファファ 州產 K		三九〇
○バニヤ 南大河產	一九〇鈩	
エスタード產	一九〇鈩	

製菓見習入用

但拾四五歲前後 詳細面談
久留米屋製菓所
聖市コンデ・デ・サルゼダース街八一
電話二―六二〇七番

記

本籍地 山口縣厚狭郡
住所 モジアナ線ジャルジノポリス驛
西澤喜久松

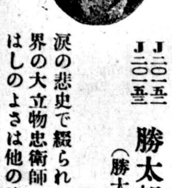
本籍地 福島縣安達郡高川村
住所 サンパウロ・ゴヤス線アダライア驛グワラニー驛
伊藤貞江（明治三十五年八月生）

本籍地 大分縣下毛郡三保村
住所 パウリスタ線ピタンゲーラ驛サンジヨゼ耕地
黒土竹司（大正三年二月生）

右の者の現住所承知致度に付本人又は御存知の向は當館宛御一報相煩はし
昭和十三年十一月
在リベロン・プレート
帝國總領事館分館

雇度し

經驗ある日本人のコツペイラ雇度し 當方ブラジル人家庭にて優遇す 御面談は九時より三時迄
Rua Bahia 650



日本ビクター會社 伯國盤レコード 第二回作製發表

J二〇二五二 J二〇二五三 勝太郎子守唄（勝太郎の端唄入り） 木村忠衛

涙の悲史で綴られた勝太郎の半生を浪曲界の大立物忠衛師の流麗極まりなき節まはしのよさは他の追從を許さざるところ

（定價 一枚 拾貳鈩）
送料 十枚迄一枚に付五〇〇レース 十枚以上一枚に付四〇〇レース

地方取次販賣店希望の方は申込下さい

時報商事部
Caixa Postal, H - Paulo

謹告

當組合本部電話番號を左記變更仕り候間此段謹告候也

八―二一九一
八―二一九二
八―二一九三

尚業務時間外は左記別にお願ひ申上候

本部事務所 八―二一九一
〃 販賣部 八―二一九二
〃 醫療部 八―二一九三

コチア產業組合

AKAKI & CIA.
R. Santa Rosa, 473
S. Paulo

農產物賣買 委託販賣
赤木商會
電＝二・九〇八一 郵＝一八九七

見よ運命の快勝せる姿と

悲肉世に多き努力者の負慘せる姿を 惱める人への福音！

天帝敎敎理鑑定
宗敎哲學運命鑑定
手相人相科學鑑定
生日吉凶運勢鑑定
宇宙天んは家相鑑定
姓名哲學運命鑑定

（姓名用家庭寶典）天帝敎御神札無料御分讓致します

天帝敎福岡本部特派 伯國支敎會 一一三晃司 宇木田晃生翁
事務聖市トマス・デ・リーマ街七十五ノ八
自宅聖市パードレ・デ・マルケツチ街十一番

Prudencia Capitalização
Companhia Nacional para Favorecer a Economia Capital Realizado: Rs. 2:250 000$000
Sede Social: R. Senador Paulo Egydio, 15 - Caixa Postal, 1843 - S. Paulo

御通知

當プルデンシア貯蓄銀行發行債券は或建築會社及他の發行する債券とは全然關係無之候近來他の會社の外交員が頻りと當行債券と他會社の債券との交換を御勸めに來る由なるも右交換は決して本債券所有者の利益にあらずして若し其の交換を勸められたる場合は大至急當行宛に交換條件及外務員の姓名御通知被下其の利害得失御說明申上候

プルデンシア貯蓄銀行 日本人部

同仁會事務所並に診療所移轉廣告

▽十一月三十日より本會事務所を日本病院内（ヴィラ・マリアナ、サンタ・クルース街六四 電話七―四九三四）に移轉致します。

▽十一月二十四日限りこれまでの夜間診療所を廢止し同二十八日（月曜日）より左記の通り診療所を臨時開設致します。

◇場所 日本病院内（ヴィラ・マリアナ、サンタ・クルース街六四） 電話七―四九三四
◇受付時間 午前九時より同十一時まで 午後二時より同四時まで

昭和十三年十一月二十日
在ブラジル日本人同仁會

峠の女性 (127)

山中峯太郎作　木原芳樹畫

濡れぎぬ

躊めいたお靜は、その瞬間に踏みとまると、不意に、強く巳作の腕を拂つた。其の機に、抉が、激しく彼の顔を横から打つた。

「何をするツ？」

「……」

「待て！」

顔を拂はれて激怒した巳作は立ち上つた。

それよりも早くお靜は前の紙をあけた。

「逃げるかツ！」

怒鳴りながら彼は追ひすがつた。伸ばした右手が、帶にかゝつた。

が、つかみ得ずに前へのめると彼は布團につまづいてドタリと前に倒れた。

お靜は隣の室へ走り出た。障子を開いて縁廊下に出ると悪魔に追はれるやうに、長い廊下を走つづけた。そして曲り角へきた時、そこにある洗面所から出て來た豊子夫人と不意に顔をあはせた……

「……」

豊子は、まともにお靜を見つめた。

お靜は、あへぎながら隅に立ちすくんだ。

會釋することも忘れて、髪はほつれ、襟も、裾も、みだれてゐる……それを見ると豊子は蒼くなつた。

巳作の寢室から呼鈴が聞えた。

「お信！……」

豊子の聲がふるへた。

「……」

お靜は涙ぐむとうなだれた。

「おまへ……旦那樣の……」

「……」

お靜は襟もとをつくろひながら夫人の顔をジッと、見上げた。哀しみと言ひわけとが涙ぐんでる瞳にあふれた。

が、豊子は、ふるへ聲で言ふのだつた。

「お呼びやないか。さあ伺つておいで！旦那樣のお部屋へ！」

豊子夫人は、なほも、お靜にイラ〱しく言ひつけた。

「お行き！旦那さまのお側へもう一度、すぐお行き！」

彼女は顔を横にふつた。

「なぜ行かないの？お前は……旦那さまに」

ブツリと言葉を切つた夫人の蒼白い顔には、呪ひと、嫉み、そして、絶望的な哀しさが、あり〱と動いた。

お靜は、この時に、キツと顔を上げた。

「奥さま！……」

「なにを言はうといふの？わたしが許してゐるぢやないか。さ！お行きといふのに！旦那樣のおそばへ！」

「わたくし、……」

「いゝえ、お前は、……」

「いゝえ、わたくし、おいとまを頂きます」

さういふお靜の聲は、ハッキリとすんでゐた。

「なんだつて？なにを？暇をくれと云ふのかい？」

夫人は急に眼をみはつた。

「はい、どうぞ、もう、わたくしは、……」

と、お靜が夫人を見つめる顔には、動かし得ない決心がつましく現れてゐた。

廊下の向ふのドアが開いて寢卷のまゝの輝子が、スンナリと出てきた。

「なんですの？母さま！」

彼女はスリッパを引きずりながら歩みよつてゐた。

夫人は、亢奮してる表情を强ひて押靜めるやうに、顔をしかめた。

時報文藝

椰子樹社主催聖市短歌會の記

既報の様に椰子樹社主催聖市短歌會を前十三日、サント・アンドレの案子居、日本莊で催す

今度の短歌會は椰子樹發刊の記念の意も含めて盛大にやらうと計畫してゐたけど、嵯峨總領事始め三、四の期待してゐた人達が都合で來られず、それに朝來からの惡天候も影響してか、結局小雨そぼ降るウチンガ驛に下り立つた者は岩波菊治、阿部青杜、樋田陽莊、石竹花、武本夫由、住吉砂丘外に坪内廣代、木村茅里の紅二點を加へ、香山聖報社長と筆者を合せて十名だつた來れない人は殘念だつたが、再三通知はして置いたけど、駄目だらう〃と斷念してゐた岩波氏がカンピーナスから參加して下さつた事は望外な喜びで本會合を大いに有意義ならしめるものであつた

ウチンガから案子居までは四キロ米足らず、散策には頃合の距離であり、それに此の間のカンポには、何時でもとり〲の小草の花が咲いてゐて行人の目を樂しませるのだが今日は生憎の雨で、そう〃た興趣をそゝるものも少い、でも女の人達は雨露を踏んで草花を摘みつゝ途中終始遅れ勝だつた

懸念した雨も大した事なく、未だ降り足らぬ不滿の氣配を示す灰色の雲空低く流れる下を案子居へ辿り着いたのが十一時少しすぎ、枝折戸を開けば直ぐ紫陽花の花が目につくランの鉢が澤山並んでゐる、さらさらと筧の水の流れ行く所、或は池があり、池があれば金魚の群れ遊び、或は木蔭あつてその間に隱見する石燈籠あり、一しほ幽玄の氣をそゝられる、丸木橋をわたつて四阿に達する池中には、滿開にはやゝまだ間のある睡蓮の花が三つ四つ楚々として固い蕾を破つてゐる

池を覆ふ樹立の梢を渡る風瀟々として耳に響き、目を放てば直ぐ眞向ひに青々とした瀟木の山がある

「信州の里を思はせられますね」と坪内氏が懷し相に同郷の岩波氏に話してゐた、そして又此處には故國の相姿をしのぶに充分な松を始め、いろ〲の盆栽が夥しく並べられてゐる

四阿に腰かけ、梢を鳴らす風音を聞き、燈籠と松の盆栽のならぶ環境に身を置き、池に散りこむ木の葉を見る時、誰もが忘れた歌を思ひ出し、果敢ない郷愁をそゝられずにはゐられないだらう、そして此處は浮世の煩瑣を忘れ、しばらくでも自然に融合し、思索に耽ける靜寂を持たせる林泉でもある、だが取材が多過ぎる故か、此處へきては殆ど作歌できないのは筆者丈でも無い様だ

持參の辨當を開き供されたハブ茶を貰じて腹を滿たし、記念寫眞など取つて、歌會に移る、香山氏が拔け、青杜氏も好きな盆栽の方へ熱中し、申わけに二つ三つ歌を出しといて、主人の案子を案內に、夢中になつて鉢をいじくり出し結局八人で選する、一人三首迄の決めだつたが、四首出た人もあり、全部で廿九首の中互選の結果、二點歌以上が終りに發表した通りである、最後に歌評などあり、ランチを饗應される、壽司に添へられた山椒の香ひ程私の心を〃故里戀しや〃とそゝるものは無かつた

歸路に着いたのが五時、折から降りだした小雨もいとはず三好家の人達は家內中で枝折戸の所から、なだらかなカンポを越えて我等の姿が見えなくなる迄見送つて下さつた、私達も幾度か振返つては手を振つた

此の谷間の里に、文字通り生活を藝術化して靜かに生活を樂しむ此の純朴な家にいつまでも祝福あれ……。（溪舟）

六點

時を經てやがて苔むすこの林泉の寂びたるさまを思はざらめや　菊治

四點

万緑の紅の色深き薮かげに來鳴ける鳥は三十三才に似し　菊治

金屬性の短き聲は樹がくりの谷の底ひにこもりて聞ゆ　夫由

三點

ながめの晴れて照る日のおぼほしライラックの花門ゆ匂ひ來　青杜

瑞々しく育つがまゝに育たせし青葉このごろ花咲きにけり　青杜

小錢沸底も既に久しも電車切符代用して我も人も怪しまず　溪舟

アラポンが鳴くとし待てば耳近く眞金打つ姫その短なき　夫由

書籍が好きと母がよく叱りしが遂に我百姓にては身をたてざりし　溪舟

二點

眞金うつ音にかも似し啼き聲は森の鍛治屋とまこと稱ばれむ　夫由

牧原にうし三つ二つ草喰めりそゞろ淋しき旅心かも　青杜

一點歌略

うた

○長友安德

やはらかに伸びたる春草ざくざくと除草してゆく快よさかな

（評）依然たゞ事歌が多い、もつと對せう物に深く突入して行かないと、上つ調子な歌になつて了ふ

○波沫正夫

椰子樹の影長く延びしに見かへれば風呂たくならむ家の邊に煙見ゆ

○悲路多夜城

裏山の陰する井戸邊に忙がしく米磨ぎ居ますたらちねの母

○母戀鳥

ジガンテだV8だと云ひながら校庭の隅にて兒等はたはむる

○佐藤清

古びたるギター鳴らして歌うたふ黒眼鏡せし盲人哀れ

（評）無意味な歌が多い、歌には感動が伴なはねば駄目

○北秋生

桃色の花こそ好けれ君くして逝きにし君の墓に手向くは

（評）用語に著しい誤まりがあり、意味の通りかねるものが多い

○菅野亥丘人

雨のうつ窓を閉ざしてこもりつゝ占領のニュースを幾度か讀めり（武漢三鎭占領の日）

裏口の塀にかた〲タマンコの泥土落して兒童等歸り來ぬ

雨晴れて月出でにけりそこ此處の窪地の雨水ま白く見ゆる

○山田耕人

放課後の校庭を一人歩みつゝ嚴しきおきてを我は嘆きぬ

農村私立學校取締令施行細則は愈よ出にけり嚴しきまゝに

（評）思ふ事を何でも歌の形に表現しても決して短歌にならぬことを注意ありたし

○西原與志男

朝霧の未だ殘れる街行きつ仄かなる日の溫くなり來ぬ

公園の巨木の上に月冴えてそぞろに偲ぶ故鄉の森

○谷口洋子

やうやくに棉植ゑすませしうら安さ降りしく雨を聞きつゝ眠る

○金鐘兒

ゆた〲と夕食の煙靜かなり空は眞赤に夕燒のせり

（評）一句の言ひ方奇異、「靜かなり」より「立上る」の方好からん

友の死　品山充

出棺の時間待つ間を庭に來てつぶらになれる青葡萄を見る

覆ひせる柩を圍み友はみな默して車上に搖られて行きぬ、

生前の君の明るき面偲びわれ額づきぬ新墓の前に

○夢城

つきつめて惱みなやみし後にして何時にても死ねる如き思ひす

はげしくも罵らし後の小氣味良さ我き本來の負けじ氣が湧く

一村の二百余人の人より罵られし彼の時の我は一番强かりき

○山本龍男

夜每鳴く近き小川の蟇の聲聽きつゝ今宵も夕餉とるかな

仄暗きカンテラよせて獨り讀む故里の老父の音信に泣くなり

富士山の麓の秋田に老父わが子らの歸國待ちつゝ稻刈るか

一年中み雪頂く富士の麓の山田に稻刈る父の思はる

（評）前半の歌はわるかつたが後半好調、心を引しめて作歌したまへ

歸沐集　鴨川青夢

蛙なく厨の隅にたらひ据え湯を浴むわれやまこと安けし

こもごもに子らを抱きていとしさにもの言ふわれはおろろ聲にて

歸り來し夜は早目に妻子らと一つの蚊帳に寢ぬるなつかし

朝めざめ聞くは親しも吾妹子が厨の樽に水汲める音

抱き上げば聲立てゝ笑まふみどり子のはえし前齒は今だ小さし

都より買ひきし土産の白き帽を子らにかぶせて手をひきて步む

灌ぎ物並べて干せる陽だまりに跣足の子らが縄飛び居れり

チヤボチカバーア賣りの車がくれば產み月の隣りの女も出て買ひけり

五十日振りにかへりしわが家に三晩寢ね明日はふたたび旅立たむわれ

（評）佳吟なり、一段と冴えて返り咲いたきみの前途を期待する

詩

夜の雨　品山充

遠くから靜かに
近よつて來る
夜の雨音……
俺は孤獨で
薄暗い酒場の隅に
ほろ苦いビールを飲む
ばら〱と窓近くの
樹の葉は雨に鳴る
晝間のほこりにまみれ
色あせた樹葉は
この雨で綠色に甦へるだらう
俺の魂の底に眠つて居た
純情もこの雨で
感傷的に甦へつてくる
百姓嫌さに捨てた故鄉……
老ひた父や母……
憧れの都會に來たものゝ
油蟲のやうな
現在の自分の生活……
ぽとり、雨滴が
ガラス扉に光つて流れる
俺の淚のやうに……

琵琶湖に寄す　寺田登都雄

霧は薄れておぼろの沖に
姿やさしい竹生島
春の朝日の喜びたたえ
鳴くよ水鳥高らかに
胸の思ひを十字にくゝる
戀の乙女のへにたゝき
辨當かた手に眸は沖に
あれはいとしの様の舟
湖、寢るよな夜更の沖で
獨り眺める流星
想ひ悲しい岬の灯り
月夜松原細い影

都會の晩春　山本龍男

一、年老いたフォードは
ヨロメキ〱
十字路を驀進し
鈴成りのボンデは
今日も疲れ切つてゐた
都會の狂騷曲に
抹殺された神經がいらだち
鋼の様に研ぎ澄まされて
人は皆心に鐵の
楯を用意する
お茶の水橋邊へ
オアシスを求め様として
人波を泳ぎながら
ヨロ〱でて來た
老婆の萎えてたるんで
艶を失つた薄黒い顏！
「ハイヒール」勇ましく
ゆきかつた異國娘の
うるんだ美しい瞳が
俺の靦神經の
スクリーンへ映つた
ルアのアカシヤの並木に
靜かに歩み寄つた
初夏のプロフイルが
あつた。

十一月の聖市　永井正吉

尖つた敎會の屋根の
多いサンパウロ
市の人々は
神神と手を握つて
生きて居る
そして
素直で
淸らかで
戀をすることの
好きな若者達が
住んで居る
雨が降ると
讚美歌を歌ふ
戀の歌も歌ふ
意地惡い神々に
苦しめられて居る
詩人達よ
來れ！　サンパウロ市に

たばこ　與世山彦志

男の子
たばこを吸つてゐる十三位の
お前は大人の眞似を實驗してゐる
汽車が來るまで
はだしで遊んで旅行者の靴を
一つ持つて一ミル
獨立獨歩は偉いが
馬糞を乾した如うな其の煙で
蟲がアルゴドンの葉つぱをかじる如うにお前の若さは枯れて
顔と一しよにからだも
セボーラの皮みたいになるのだ

追想　谷口洋子

ふと開いた日記帳から
はらりと落ちた寫眞一葉
櫻の下で肩組んで
皆嬉げに微笑あり
あの頃は樂しかつた
思ひで辿りめくる日記の字も
希望にをどつてゐる
瞳も頰もはるのあこがれに輝いてゐる
あの頃は樂しかつた
なつかしいあの斷髮は
今は只徒らに伸びて

時報俳壇

春季雜詠　念腹選

間崎黎

船去つてしだいに解けて朧かな

レコードの歌詞美しき春の水

さし向に母娘の生活草の餅

目黒はるえ

病床の遲日の時計巻きにけり

牛の背に下りてしばらく囀れる

椰子の實の落ちこぼれたる春の芝

中野陽水

蜂雀八重山吹に羽搏てり

江中に倒れて椰子のはな咲けり

土に寢て夢喰ふ獏の日永かな

荒木宗平

雞の毛の紫摩黄金に春日かな

家建や虻追つてゐるひまな人

築田月耕

春の日や籠のカナリン鳴き競ふ

蟻ころす炭火刎ねちる春のつち

前田やしま

墾の餅遠く霞てあがるあり

パン賣りは大ニグロかな豆のはな

林銀河

雨の夜は戀猫軒を巡り啼く

門先の肸受に來て囀れる

安達竹畝

桑の芽にこごまり灯す提ランプ

鈴木抱春

大ぬまに日々增す水や蛙の子

州境の河を挾みて野焼かな

增田恢河

春の雨貨車の中なる驛事務所

ものの芽を踏みて何やら輕き悔

小柳武義

放れ馬探すあてなし春の草

花萎れし椰子の並木や夏どなり

霧屋の戸に雨上りけり夏隣る

三好さとる

日傭のかくれ晝餉や藤のはな

春泥や又追越されニグロ馭者

中川正春

野良に張る天幕暑し草の餅

椰子の木の下に搗き下り草の餅

佐藤潔子

ともし灯のあゆめる野路の朧かな

手傳ひに來て桑摘の手の遲き

大場十喜

はるの日を暑しと晩稻除草かな

宮崎怪城

鬼灯ぬきて畜もちにけり

七島豆陽

春宵や醱業珈琲焼いてゐる

手代木休碩

種子薯のオランダのつち宵けしまゝ

岩上五重

朝霧を拂ふて園のはなつゝじ

宮地一甫

はる水て映りて山羊の突き合へる

增田拓山

風光り行商かるき荷に勇む

小堀歌川

紫の暮るゝ丘々棉を蒔く

山室默震

日を追ふて龍舌蘭の咲き登る

白石秋峯

はる草を剛ひて山羊を放ちけり

松本銀穗

つむじかぜ燒野に出でゝ太りけり

○念腹

螢屋ともりニグロ灯さぬ夜ぞ多き

厠ある家褒められぬはな珈琲

親鳥の振る尾がくれの仔馬かな

次期課題
芭蕉の花　一人十句
夏期雜詠　同
以上〆切　十二月十日

作品募集

詩歌俳句小說批評其他文藝に關するもの一切、取捨は編輯部の自由とし、原稿返送の責任を持ちません

特別に規定なきもなるべく十三字詰原稿用紙使ようのこと、俳句にかぎり課題に應じ選者佐藤念腹先生 Faz. 2a Aliança, Est. Lussanvira, N. O. B. 宛直送の事其他は本社編輯部宛の事

ミシンは……
國產インペリアール

社告

茂木源太郎儀を出張致させ候間何卒諸賢の御配慮を願上候　敬具

伯剌西爾時報社ソロ支社

北パラナ線在住諸賢

新カタログ出來上りました御申越次第呈上
CAIXA POSTAL, 2030 へ (S. PAULO)
最も新しき型のカメラを始め多種多様のカメラ皆縮寫圖入りにて網羅し寫眞撮影要具、藥品、材料、器具等の値段もことごとく記載
南米唯一
日本文完全カタログ

... as ampliações feitas pela
FOTOPTICA
A CASA DOS AMADORES
S.PAULO • RUA S.BENTO 383 2-4900

斷乎と守れろの正義

日本人が日本語教育を施すのは正義であり、在伯大和民族が日本の辛苦に報ふる唯一の鐵則である。そして永久にして最高の銃後の守りであり、後援である。

家庭日本語敎育の實行

子供の園を伴侶として——進まん道はこれ一つ

內容の一部

日葡語勉强室
日本語勉强室
お笑バジナ
面白い豆知識
アリトキリギリス
十二月の金言
大好評冒險ダン吉
搖り籠の唄
除夜の鐘
サンタクロースの話
風はどこにゐる
日まわり
ヴェニスの商人
偉くなる法
子供の園詩集
兒童作品
其の他

見よ↓

家庭日本語教育唯一の殿堂

子供の園　十二月號發刊さる

家庭欄

植民地スリル　危い貞操と金
隨筆　死を超ゆるもの
ユーモア　おかしな話
創作　壞れた植民生活（長篇讀切）
ヒツトラー思慕の女性
伯國小說　森林の父子
ニュードラマ　新撰組
母姉の頁　豚料理いろ〱
獨身者、結婚、出產を語る
戰勝の幻惑
噴霧器の歌
新聞雜誌新用語の解說
懸賞創作募集詳細

子供の園定價（一冊　三ミル　一ケ年　三十ミル）

發行所　聖市　伯剌西爾時報社

申込みの宛名→

Illmo. Snr.
Noticias do Brasil
Caixa Postal, H
S. Paulo

Casa Allemã

LINHO IRLANDEZ BRANCO 220.- 245.-
LINHO IRLANDEZ BEIJE 225.- 245.-
LAN E LINHO BEIJE 225.
TROPICAL CASIMIRA BEM LEVE 235.-
SCHAEDLICH OBERT & CIA RUA DIREITA 162 190

夏向き洋服は
スマートな型で
高級仕立
破格大勉强の
カーザ・アレマンへ